

いしかわ 議会公報より

No. **161**

平成22年 **9** 月 **1** 日

発行 / 石川町議会
編集 / 石川町議会広報
編集特別委員会



5月28日野木沢地区議会報告会
(野木沢自治センター)

開かれた議会を目指し、町民の議会参加と町政に関する情報の提供を目的に、6ヶ所の自治センターで議会報告会を開催しました。150の方に参加いただき、多くのご質問やご意見が出されました。町民のみなさま、誠にありがとうございました。

2010

議会報告会 特集号

-
- P2** 議会が対応すべき意見と要望

 - P3** 町長に対応を求める意見と要望

 - P4** 参加者の声 ~ アンケートから ~
-

議会は、監視と 政策への提言をすべき

初めての議会報告会では、議会の活動状況、3月定例会の審議内容などを説明しました。また、参加者との意見交換会を行いました。皆様から出された貴重なご意見やご要望は、議会で検討し、今後の議会活動に役立てていきます。主な意見等は、次のとおりです。

議会が検討し対応すべき意見と要望

1、議会全般

- (1) 議会運営
 - ・ 常任委員会の中継を。
 - ・ 全員協議会の公開を。
 - ・ 議案審議の日数は十分なのか。
 - ・ 議会からの提案数が少ない。
 - ・ 十分審議するために、議員定数を増やしては。
 - ・ 議員定数が多いと思うが、減らす考えは。
 - ・ 広報無線を利用して、議会日程の周知を。
 - ・ 議員も勉強不足。
- (2) 一般質問
 - ・ 関連質問はできないか。
 - ・ 同じ内容の質問は、調整できないのか。
 - ・ 町長から課長と繰り返す答弁は聞きにくい。
 - ・ 執行部への突っ込みが足りない。
 - ・ 休日議会を9時からで



中谷地区(中谷自治センター)

- ・ 質問する議員が限られている。
- (3) 請願・陳情
 - ・ 採択後の事業執行のチェックを。
 - ・ 優先順位など仕分けが必要なのでは。
 - ・ 議会に執行権がないのなら、課長に話をした方が良いのではないか。

- (4) 議会だより
 - ・ 予算説明など、広報いしかわと内容が類似しているので改善を。
 - ・ 追跡リポートは、一回ではなく継続して追うこと。
- (5) 議会報告会
 - ・ 話し合う機会は良い。
 - ・ 町のホームページで知らせを。
 - ・ 地元議員の出席を。
 - ・ 出席議員に発言の機会を。
 - ・ 何を言おうとし、何を聞きたいのか分かりにくい。

議会として、 共通認識をもって 対応する

- 2、町が抱える課題
 - (1) 企業誘致と雇用
 - ・ 誘致企業は決まったのか。
 - ・ 議会の責任、努力は。
 - ・ 人口を増やす施策は。



母畑地区(母畑自治センター)

- ・ 生活基盤の確保を。
- (2) 学校統合
 - ・ 議会として、どう取り組むのか。
 - ・ 住民は、細かい説明を聞いていない。
 - ・ 議員は、地区に入り声を聞き、住民と一体化した対応を。
 - ・ 失態とならないように。
- (3) 町の活性化
 - ・ 地域開発を検討しているが、予算が足りないのに対応を。
 - ・ 直売所建設について、しっかりと検討を。
 - ・ 議会としての施策、提案を。

(4) 医療・福祉
 入院施設がないことをどう考えているのか。
 ・ 特別養護老人ホームの増床を町に要望したので協力を。

今回の意見・要望に
 対しては、議員個人の
 対応はもろろん、全員
 でしっかりと協議・検
 討し、諸問題の改善に
 努めてまいります。
 経過及び結果は、議
 会だよりで報告しま
 す。

企業誘致はできるのか

—直売所は早急に、しっかり計画を—

町長に対応を求める意見と要望

議会報告会で出された町政への主な意見・要望は次のとおりです。これらは、今後、町長に申し入れを行い、対応策や考え方を求めています。

町政への意見は、町長に対応を申し入れ

- 1、総合計画の実現
 - 2、企業誘致
- ・第5次総合計画を早期に具体化し、施策の実現を要望する。
 - ・企業誘致の見直しは、若者の働く場所確保のため、ぜひ実現を。
 - ・企業は、人材を求めて



石川地区(石川自治センター)

- いる。高校での育成を。
- ・既存企業に支援策を。
- ・短期大学の誘致を。

- ・温泉に、年間20万人が来町。観光資源の開発を。
- ・さくらまつりの誘客促進と経済効果の発揮を。

町に入院施設を

人口減少対策を

- 3、市街地対策
 - 4、農業振興と直売所
- ・町の市街地が空洞化している。その対策は。
 - ・農業は、後継者がいない。特産物の開発、農業振興策を具体化して欲しい。

- 6、人口減少、活性化対策
- ・住みたくなる町づくりの施策を。
 - ・人を増やす施策を具体的に。移住受け入れ対策の強化を。

- 5、鉱物、林業、観光振興
- ・町の資源である石や桜史跡で町おこしを。
 - ・ペレットストーブの燃料は、町内産木材で。
 - 燃料工場の誘致を。

- 7、健康と医療
- ・高齢化社会の到来。町に入院施設を。
 - ・特定検診の受診率の向上対策は。



沢田地区(沢田自治センター)

若者向けの住宅を

早急に道路の整備を

- 8、道路整備と住宅政策
 - 9、庁舎建設
- ・早期に道路整備を望む。
 - ・若者向けの住宅建設を。
 - ・庁舎建設
 - ・町の顔である庁舎の建設を。

- 10、町政懇談会の開催
 - 11、税金及び家賃の徴収
- ・庁舎建設より、子どもの教育の優先を。
 - ・町政懇談会の開催を望む。
 - ・税金・町営住宅家賃の滞納対策は、徴収強化と滞納者の実態調査を。

- ・ふるさと納税制度のPRを。
 - 12、河川の水質改善
 - 13、水道の敷設
- ・河川水質が悪い。市街地の合併浄化槽設置推進を。
 - ・水道敷設要望への実現を。

学校統合の議論に女性の参加を

- 14、学校統合
 - 15、教育の振興
- ・どこまで進んでいるのか。悔いが残らないよう慎重に。
 - ・親の負担、子どもの負担が増えないように。
 - ・統合はやむを得ない。通学の配慮を。
 - ・早く統合し、教育の均等を。
 - ・議論の場に女性参加を。
 - ・跡地利用をしっかりと。
 - ・児童の登下校時の荷物軽減を。
 - ・地区公民館をなくしたが、ますます必要な社会教育。公民館の充実を。

議会報告会の継続を

— 議会の更なる努力を —

アンケートに寄せられた参加者の声

1、議会報告会

- ・参加者を集める工夫を。
- ・開催の日時をホームページで周知を。
- ・年2から3回の開催を。
- ・開催は、2年に1回で良い。
- ・継続的な開催を。
- ・開催時期の考慮を。
- ・2時間は適当である。



山橋地区(山橋自治センター)

2、報告の内容

- ・1時間半程度で良い。
- ・パフォーマンス的だ。
- ・全議員の出席を。
- ・開催は良かった。
- ・充実して有意義だった。
- ・全議員の一般質問の回数、内容のデータが欲しい。
- ・議会内で問題となっている具体的内容が聞きたかった。
- ・資料が少なく、内容が分からない。
- ・議会だよりを見ながらの説明なので分かりやすかった。
- ・手短で良かった。
- ・議会の内容が理解できなかった。
- ・各議員の考えが聞きたかった。
- ・議員の答弁に限界があり、消化不良の感がある。
- ・町政に関する意見交換にすれば、さらに内容が充実するのでは。
- ・意見を聞くより報告を。
- ・意見交換に時間を多くとる配慮が良かった。
- ・質問しやすい雰囲気づくりを。
- ・ざつくばらんで雰囲気良かった。
- ・活発な発言、質問があり、各種団体や議員との対話が良かった。
- ・私たちももっと勉強して、よりよい発言をした。
- ・他地区の意見も聞きたい。
- ・良い試み。今後にも期待。

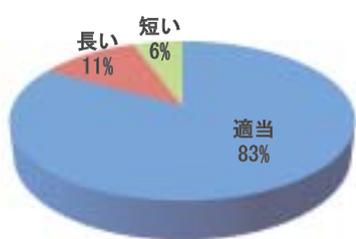
3、意見交換

- ・各議員の考えが聞きたかった。

アンケート結果

(回収率62%)

意見交換会の時間は・・・



報告内容は・・・



議会報告会は・・・



出席者数

開催日	会場	班	出席者数(人)
5月26日(水)	石川自治センター	1	27
	沢田自治センター	2	30
5月27日(木)	山橋自治センター	1	22
	中谷自治センター	2	31
5月28日(金)	母畑自治センター	1	17
	野木沢自治センター	2	23
合	計		150

班編成

- 1班
- 中村孝太郎
 - 大野 峯
 - 二瓶 義雄
 - 矢吹 重光
 - 角田 忍
 - 瀬谷 京子
 - 関根 武一
- 2班
- 圓谷 健市
 - 矢内 清一
 - 矢内 義将
 - 関根 信次
 - 永沼 一夫
 - 遠藤 貢藏
 - 渡邊 實

編集後記

町民に「開かれた議会」「身近な議会」を目指し、議会改革の一環として、初の試みである議会報告会を実施しました。

さらに、6月定例会では「休日議会」を開催するなど、14人の議員が丸となり、議会改革を進めています。「改革」は、始まったばかりですが、時代の激しい変化に遅れることなく、町民の皆様信頼される開かれた議会に向けて、「議会改革」の歩みを進めていきたいと思っております。町民のみならず、熱いご意見をお待ちしています。

(T・S)